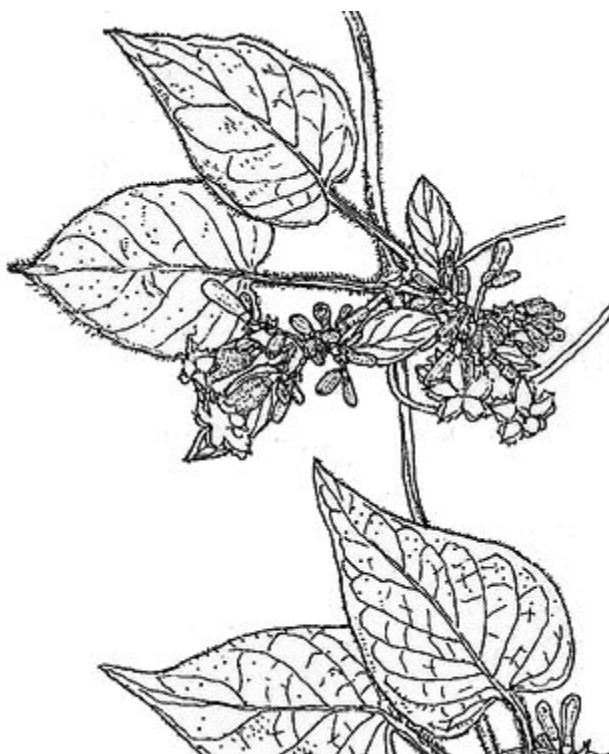


稲城野草散策の会

野草スケッチ ヘクソカズラ（アカネ科）



1996/09/04

稲城市矢野口

絵と文 Ta

ヘクソカズラはママコノシリヌグイと並んで「かわいそうな名前」といわれる植物だ。

いかにも匂ってきそうな名前だが、葉を千切ったりすると、本当に匂う。平安の頃には「クソカズラ」だったが、いつのまにか「へ」までつくようになった、と言われている。

会報第35号 2007年11月11日発行 発行責任者 尼子 房夫

「サオトメカズラ」という可愛らしい別名もあるのだが、だれも使ってくれないようである。

あるとき、観察会で見慣れないような葉を1枚持ってきて、これは何でしょうか、と訊いてきた人がいた。

10cmくらいある、ややハート形にくびれた葉。

該当しそうな植物名を頭の中で検索する。が、ピッタリくるものがない。

「どこにありましたか」

「そこの生垣です」

それでピンときた。私も通りすがりに見ているのだ。

「匂いを嗅いでみてください」というと、くんくんやって、葉を放り出した。

「わかりました。ヘクソカズラだ」

たいがいの植物は枝を切られると、新しい枝を出す。

新しい枝は太く、葉も大きいことが多い。

剪定されたケヤキなどで肥大化した葉を見ることがある。

そういう現象はヘクソカズラにもあったのだ。

それにしても、通常の3倍はありそうな、ジャンボヘクソカズラではあった。

国立科学博物館筑波実験植物園（つくば市）で、シダ観察のオフを行ったことがある。

そのとき、館内の売店に「私の植物画」（国立科学博物館監修、講談社発行）という本がおいてあった。

国立科学博物館では、毎年植物画コンクールを行っているそうで、その入選作を集めた本だという。

手にとってみた。

すごい。すごい。私なんか足元にも及ばないような絵が満載されている。

たまたま、この程度なら、と思ってよく見れば、小学生の作品なのだ。

ぱらぱら見ていて、ヘクソカズラの絵に目がくぎ付けになった。

古い竹ざおに絡まって咲いている絵だったが、あまりにもリアルなのだ。

どうやって描いたのだろう。すごい人がいる。

作者は小林英成という方である。第6回（平成元年度）の館長賞を受賞していた。

巻末の作品リストを見て、二度びっくりした。

なんと、小林さんの住所は東京都稲城市になっている。

その小林さんと、南山で偶然お会いした。これまたびっくりである。私がスケッチしていたら、話し掛けてきたのが小林さんだったのだ。住所を教えていただき、後日訪問した。ちょうどカノコユリを描いておられて、しばらく筆の運びを見せていただいたり、技術面での教示を受けたりした。小林さんは植物画の会を持っておられて、私にも入会しないかとの誘いを受けた。

私は絵を誰かに習ったことはない。まったくの独学といえば聞こえはいいが、我流である。

この機会にキチンと習っておこうかと考えた。

しかし、あまりフィールドへは出ず、インドアで描くと聞いて気持ちが後退した。当時、フィールドへ出る時間が削られることは、それこそ身を削られるような思いがあった。

結局、入会はしなかった。現在にいたるも我流のままだ。

なお、小林さんは現在世田谷方面へ居を移し、活躍されているそうである。

* * * * *

〔観察記録〕 10月14日 矢川源流

場所がよかったのでしょうか、天気はくもりでしたが、参加者は72名と大勢の方が参加されました。

今回から稲城野草散策の会の世話役に満井さん、板谷さんのお二人が参加されることになりました。

朝の集合場所の公園には、植栽された花があり、朝顔の仲間、黄色のリコリス（ショウキズイセン）やピンク色のネギの仲間ツルバギアなどが咲いていました。案内役の馬場さんから「谷保天神」の解説のあと出発。

谷保天神の境内にあったカイノキはウルシ科で食用になるピスタチオの仲間です。そばで見たキリの幼木の葉は大きかったですね。

近くの田圃周辺ではいろいろ観察出来て、皆さん仲々移動されないのがやきもきする場面もありました。城山公園の入口付近で、この辺りでは珍しいサクラタデを観察出来ました、公園内で見かけた大きな葉っぱはバンレイシ科のポポーの葉のようです。またハガキの木・タラヨウがありました。

ハケ下の道を通って矢川に沿って歩き、矢川緑地でミクリなど水辺の植物を観察して本日の観察会は終了しました。懸念された雨にもならず、過ごしやすい天候でよかったと思います。(FAM)

◆観察記録（番号順）

(01)ムクノキ、(02)エノキ、(03)カヤ、(04)カキノキ、(05)メタセコイア、(06)ケヤキ、(07)キリ、(08)ウキツリボク(花)、(09)セイヨウフウチョウソウ(クレオメ)(花)、(10)マメアサガオ(花)、(11)アメリカアサガオ(花)、(12)キカラスウリ(実)、(13)チョウジタデ、(14)カントウヨメナ(花)、(15)オオカワチシャ(花)、(16)コナギ(花)、(17)タマガヤツリ、(18)アイダクグ、(19)クコ(花)(実)、(20)ゴウシュウアリタソウ、(21)アメリカセンダングサ(花)、(22)ヒメツルソバ(花)、(23)ミノソバ(花)、(24)コセンダングサ(花)、(25)サクラタデ(花)、(26)ヌカキビ、(27)サヤヌカグサ、(28)ムクノキの樹皮、(29)エノキの樹皮、(30)マユミ(実)、(31)クサギ(実)、(32)ハエドクソウ、(33)オオハナワラビ、(34)ポポー、(35)ハナタデ(ヤブタデ)(花)、(36)ヒヨドリジョウゴ、(37)シラカシ、(38)アラカシ、(39)シロダモ、(40)キツタ(花)、(41)シロヨメナ(花)、(42)タラヨウ、(43)キダチチョウセンアサガオ(花)、(44)トキワツユクサ(ノハカタカラクサ)、(45)チチコグサモドキ、(46)ツルマンネングサ、(47)アリタソウ、(48)アオツツラフジ(実)、(49)ノブドウ(実)、(50)ヌルデ(実)、(51)スカシタゴボウ、(52)ジュズダマ(実)、(53)ミクリ(実)、(54)コヒルガオ(花)、(55)オモダカ、(56)ヤナギタデ、(57)クワクサ、(58)コセンダングサ(花)、(59)マルバヤナギ、(60)ミゾホオズキ(花)、(61)ホウキギ(花)、(62)バショウ、(63)シャクチリソバ、(64)マルバルコウ(花)、(65)ヤーコン、(66)ガガイモ(花)、(67)(68)イワヒメワラビ、(69)イボタノキ(実)、(70)ムサシアブミ、(71)ユウガギク(花)、(72)ヒヨドリバナ、(73)ハンノキ(実)、(74)ツルマメ、(75)イシミカワ(実)、(76)アキノウナギツカミ(花)、(77)コブナグサ、(78)ポントクタデ(花)、(79)ヒメガマ
(FAM)

〔フローラオフ行事記録〕 10月28日 美味しいオフ

美味しいオフでした。稲城・北緑地公園で開催しました。

本当に快晴のいい天気、椅子に座ってのんびりしているだけでも幸せを感じる一日でした。天気が悪いだらうと予想されて、申し込まれなかった方、本当に残念でしたね。

メニューは、サンマの炭火焼き、おまけの烏賊の丸焼き、クリームチーズを塗ったフランスパン、本日のメイン・鶏飯。途中でおなか一杯の声が出るくらいボリュームたっぷりでした。それぞれ美味しかった。

新規に購入したテントを今回初めて張りましたが、日差し除けに大いに効果を発揮しました。Taさんのサンシンの歌も入って盛り上がりましたが、あっという間に時間が経ち、次回の美味しいオフを約してお別れになりました。(FAM)

〔行事予定〕 2007/11/11 (日) 草花丘陵

項目	説明
集合	am10時、JR青梅線羽村駅 改札口付近 ※会旗目標 羽村駅の改札口は一個所だけです
交通	JR青梅線青梅特快 立川発9:35 羽村着9:55があります 立川～羽村は、約20～25分です
行く先 (解散場所)	草花丘陵(一回りして羽村駅へ戻ります)(下の地図を参照ください) 羽村駅にてpm4時頃解散予定
見所 その他	羽村市のボランティアが保護しているカワラノギクが見ごろです カワラノギクの分布は多摩川と相模川の一部に限られています 他に、コシオガマ、コウヤボウキ、ヤマゼリ、タイアザミなどの花 や各種木の実が見られます
地図	
コース	<p>羽村駅→羽村堰→河原(カワラノギク保護地)→羽村市郷土博物館 (昼食)→羽村神社→ゴルフ場に沿った散策路→羽村大橋→羽村堰 →羽村駅(解散:4時頃)</p> <p>行程4～5km程度です 多少のアップダウンがあります コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません</p>

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔行事予定〕 2007/12/16 (日) 焼き芋大会

項目	説明
集合	午前10時、京王相模原線京王よみうりランド駅 ※会旗目標 京王よみうりランド駅の改札口は一個所だけです
交通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で3駅目 京王よみうりランド駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先 (解散場所)	稲城市穴沢天神での恒例・焼き芋大会です。穴沢天神で解散。最寄 駅は京王よみうりランド駅です 焼き芋準備グループと観察グループの2班に分かれて行動する予定 です
見所・その他	たき火(^_^) 冬芽、常緑シダなども観察します 当会の忘年会を兼ねます。芋、酔い子の飲み物などは幹事が用意し ます。差し入れ大歓迎!!
コース	観察グループのコース： 駅前～よみうりランド遊歩道～小沢城址～穴沢天神（焼き芋大会） （解散：15時30頃）

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日500円

〔募集・2008年度観察会の推薦場所〕

2008年度の観察希望の場所を募集します。皆様からのご提案をお待ちします。
月例の場所としては、12月の焼き芋大会、1月の七草摘み、七草粥。稲城ふれ
あいの森、三沢川下りなど稲城での観察会を6回くらい、その他の場所8回。
バスハイク観察会1回を目安に考えています。

過去のバスハイク観察会は、下記。

000806 (日) 乙女峠

010729 (日) 三ツ峠

020627 (日) 三窪高原

030724 (木) 高峰高原

040722 (木) 入笠山

050714 (木) 高ボッチ

060427 (木) 函南原生林

070720 (金) 霧ヶ峰高原

(FAM)